

南相馬

# ミュージアム通信

Minamisoma City Museum News

Vol. 28

平成27年10月15日発行

編集・発行

南相馬市博物館

原町区牛来字出口194

TEL 0244-23-6421

URL <http://www.city.minamisoma.lg.jp>

特別展

サクリファイス

# SACRIFICE

—眠る地層にささげる花

平成27年10月24日(土)～12月6日(日)

**ア**ートプロジェクト『はま・なか・あいづ文化連携プロジェクト』の活動の中で、華道家の片桐<sup>かたぎりあつのぶ</sup>功敦氏（大阪府在住）は平成25年秋から26年夏にかけて、東日本大震災と原発事故の影響が残る南相馬市を拠点に、相馬地方の各地をめぐって花を探し、当館所蔵のさまざまな資料を花器として花を活け、取材・撮影活動をしてきました。

**片**桐氏が花器とした土器等のさまざまな博物館資料は、悠久の歴史の中で積み重なってきた「地層」の中から掘り出された、いわば人々が無数の命を繋いできたものの象徴。その積み重なってきた地層の上に咲く花は、新たな命として生まれてきたもの。それらが融合し“いけばな”としてささげられた花の命は、今を生きる私たちへ、次代へ繋ぐ命の尊さを教えてくれる「Sacrifice（ささげ物、<sup>くもつ</sup>供物）」です。

**本**展示では、片桐氏の写真作品と、花器となった当館所蔵の資料をコラボレーションした展示を行います。震災・原発事故による被害を受けた相馬地方の次代を考えるきっかけとしていただければ幸いです。

◆特別展記念フォーラム

「希望としての Rewilding（再野生化）」

開催日時：平成27年11月29日(日) 13:30～15:30

場所：南相馬市博物館シアター

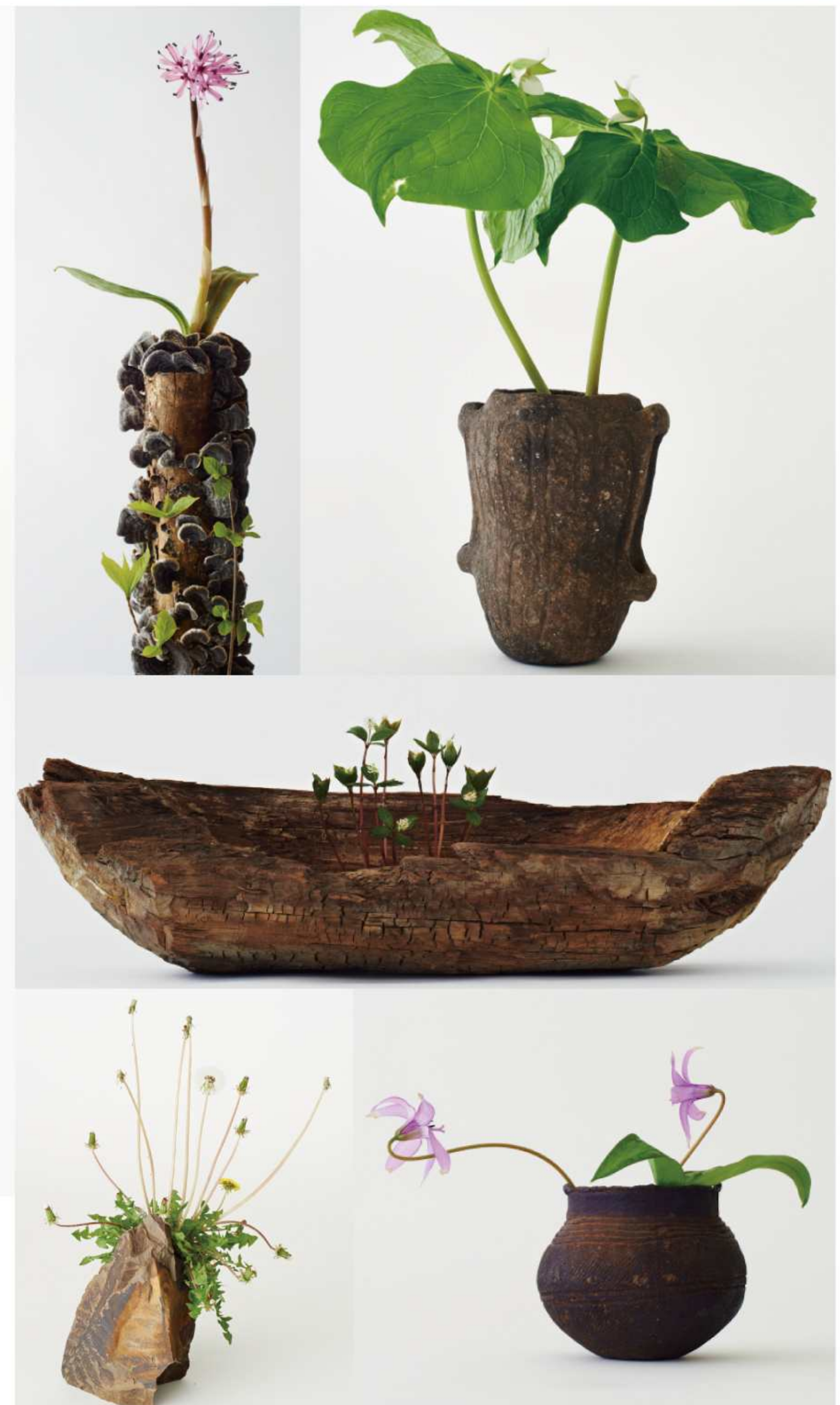
定員：80名（要申込：0244-23-6421）

パネリスト

赤坂憲雄（福島県立博物館館長）

片桐功敦（花道みささぎ流家元）

管啓次郎（明治大学教授・詩人）



とうほくぶんか  
東北文化の日は  
はくぶつかんへ行こう！  
11月3日(火)は無料開館日！

東北文化の日は東北6県各地の博物館などを無料（割引）とする日。

●観覧料

一般……………300円

市内の高校生以下……無料

\*飯舘村の小中高生も無料です！

障がい者の方と付添いの方1名は無料です。

※詳細は裏面のご利用案内をご覧ください。



# 「被災地からの考古学 1 in 南相馬 —福島県浜通り地方の原始・古代—」

東日本大震災および原発事故で大きな被害を受けた浜通り地方もその後4年が経過し、復興に向けた取り組みが徐々に進んでいます。これまでの復興事業に伴う発掘調査により浜通り地方の新しい歴史が次々に明らかになってきています。今回の展示では、浜通り地方が福島県、東北地方、さらに日本全体の歴史の中で、どのような役割を果たした地域だったのかを解き明かしていきます。発掘資料のつづやきから浜通り地方の意外な真実を発見できるはずです。

**期間 平成28年1月16日(土)～3月6日(日)**

場所 南相馬市博物館特別展示室  
観覧料 通常料金(※下部「ご利用案内」の「観覧料」をご確認ください)

開幕説明会 1月16日(土) 13:00～

福島県立博物館 主任学芸員 荒木 隆氏

講演会 ※各回とも定員30名 場所：体験学習室

「浜通り地方から福島県の古代を読み解く」……1月30日(土) 13:30～15:00

講師 福島県立博物館 主任学芸員 荒木 隆氏

「シリーズ浜通り地方の製鉄を考える」……2月6日(土) 13:30～15:00

講師 日本古代銑生産研究会 吉田 秀享氏

「復興調査から見てきた南相馬地方の歴史」…2月27日(土) 13:30～15:00

講師 南相馬市教育委員会文化財課 主任文化財主事 荒 淑人

各々講演会終了後、福島県立博物館担当学芸員による説明会を開催します。

※講演会は参加費無料、ただし要申込。

移動展はいわき市考古資料館でも開催されます。(10月3日(土)～12月14日(月))



→: 船が描かれた土器(古墳時代)  
南相馬市鹿島区  
はちまんばやし  
八幡林遺跡出土



←: 人面墨書土器(平安時代)  
いわき市荒田目  
あつため  
じょうり  
条里遺跡出土

## 南相馬市博物館の催し物 10月～3月

※申し込みはお早めに。定員になり次第締め切ります。

問合せは 南相馬市博物館 0244-23-6421

期 日	タイトル	詳 細
10月31日(土)	史跡めぐり 「浜通り北部の巨樹・巨木めぐり」 	9:00～15:00 定員20名 講師：岩崎真幸氏・植田辰年氏 市のバスに乗り、新地・相馬の巨樹・巨木を巡ります。 【持ち物】カメラ、筆記用具、水筒、お弁当、歩きやすい靴、双眼鏡
11月1日(日)	体験学習 「封入標本でアクセサリーをつくろう！」 	①10:00～12:00、②13:30～15:00 定員20名 講師：当館学芸員 植物の花や実をアクリル樹脂に閉じ込めてペンダントを作ります。 汚れてもよい服装でおこしくください。
11月7日(土)	博物館講座 「古文書にみる奥州中村落の報徳仕法」	13:30～15:30 定員30名 講師：水久保克英学芸員 江戸末期、藩の復興策「報徳仕法」について、当時の古文書・記録類を解説しながら、その内容を紹介します。
11月28日(土)	体験学習 「化石のレプリカを作ろう！」	10:00～12:00 定員20名 講師：八巻安夫氏 ほか2名 プラスチック粘土や樹脂を使って、地元で採集された化石(アンモナイトや巻貝など)のレプリカを作りましょう。カラフルなレプリカも作れます。
12月6日(日)	博物館講座 「南相馬の生き物スタンプを作ろう！」	13:00～15:00 定員20名 講師：矢内歩惟氏(ムシテックワールド) 生き物の消しゴムハンコを作ります。年賀状用にどうぞ！ 絵柄は南相馬の秋と冬の生き物たちです。汚れてもよい服装でおこしくください。
2月13日(土)	博物館講座 「奥州中村落の浄土真宗徒移民政策について(仮)」	13:30～15:30 定員30名 講師：水久保克英学芸員 江戸末期におこなわれた藩の移民政策について古文書・記録類からその概要を解説します。
3月6日(日)	体験学習 「勾玉をつくろう！」 	10:00～12:00 定員20名 二上文彦学芸員 縄文時代から使用されていた勾玉の歴史や技術を学びながら、滑石で作ります。 【持ち物】鉛筆・汚れてもいいタオル1枚・蛍光ペン

### ご利用案内

※いずれも参加費は無料です。

### 南相馬市博物館

問い合わせ ☎975-0051 原町区牛来字出口194 電話：0244-23-6421 FAX：0244-24-6933

E-Mail：hakubutsukan@city.minamisoma.lg.jp

開館時間 9:00～16:45(最終入館は16:00まで)

休館日 毎週月曜日および年末年始(12月29日～1月3日)  
※月曜日が祝・休日の場合は開館、その翌平日が休館日となります。

観覧料 一般300円(250円) 高校生200円(150円) 小中学生100円(80円)  
( )内は20名以上の団体料金です。

※市内および飯館村に居住・通学する小中高生は無料。障がい者の方は無料(手帳をご提示ください)

